

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	造形4(Modelling4)		授業コード	C177352
担当教員名	時間割確定後登録しますので入力は不要です		科目ナンバリングコード	
配当学年	1	開講期	後期(集中)	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	この授業では各自が課題制作を行います。そのためには、必要な画材を各自で揃える必要があります。授業までに担当者から説明がありますので、その内容をよく聞いて準備してください。必要な画材は購買で販売します。			
受講心得	授業時はもちろん、課外の予習復習(自習)を通して、以下の点が達成できるように学習を進めてください。 ●色彩に関する知識、理解を深めることができる。 ●画材道具の使い方、技法を追求し、深めることができる。 ●美の秩序を理解し作品に応用できる。 ●平面や立体の空間における構成力や表現力を身につけ追求できる。			
教科書	資料を配布します。			
参考文献及び指定図書				
関連科目	デッサン、コンピュータグラフィックス基礎、コンピュータグラフィックス応用、広告デザイン、3D CAD基礎、3D CAD応用			

授業の目的	この科目の目的は、視覚表現に用いる素材についての知識や表現技法を身につけること、色彩に関する知識を深めることの2点を通して、より良い視覚表現を求めていくための基礎力を養うことにあります。デジタル技術を用いた表現力を高める前に、デジタル技術以前の、従来の造形素材を用いた表現技法の訓練を行います。
授業の概要	デジタル技術を用いた表現力を高めるには、従来の描画材を用いた表現技法の訓練が欠かせません。具体的には、次の3点を主に学びます。(1)アクリル絵の具を主に用いて平面表現における色彩構成のトレーニングを行い、色彩に関する感覚を養います。(2)構成力を学ぶことにより、立体空間における表現力を養います。(3)各種の素材の活かし方や基本的な画材の使用法を習得します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第 1 回 : 平面構成について</b>  ここでは、平面構成の形式についての学習を中心に3回連続の学習を行います。また、さまざまな要素を基に造形と構成について以下の項目に基づき分析し考察する力を育成します。 (1)美的形式について (2)シンメトリーについて (3)プロポーションとリズムについて	課題:「平面構成」
<b>第 2-3 回 : 平面構成</b>  「平面構成」の課題制作を行います。	課題:「平面構成」
<b>第 4 回 : 平面における色彩構成</b>	

<p>ここでは、前回までに学習した内容を基にして学んでいきます。  自然から学んだ形体による構成についてさまざまな側面や条件、考え方の講義を4回連続の演習を通じて学習します。演習は、プリントなどの資料を用いてトレーニングを行い、内容の理解力を高めます。その過程の中で、造形の要素をさまざまな側面や条件、考え方についてひとつひとつ確認していきます。</p> <p>(1)造形の要素について  (2)造形の要素と構成の条件  (3)造形の要素と構成の側面  (4)構成の要素・・・点、線、面  (5)造形の要素と構成についてのまとめ</p>	<p>課題:「平面における色彩構成」</p>
<p><b>第 5-6 回 : 平面における色彩構成</b></p> <p>「平面における色彩構成」の課題制作を行います。</p>	<p>課題:「平面における色彩構成」</p>
<p><b>第 7 回 : 形態の発想</b></p> <p>ここではテーマの設定を行い、それを基に形態の発想、制作を行います。2回連続で制作による演習を行います。課題制作の中で、平面上における形態を発想する力を育成します。</p> <p>(1)形態の発想訓練  (2)平面上における形態の発想  (3)まとめ・・・評価と理解度の確認</p>	<p>課題:「形態の発想」</p>
<p><b>第 8 回 : 形態の発想</b></p> <p>「形態の発想」の課題制作を行います。</p>	<p>課題:「形態の発想」</p>
<p><b>第 9 回 : 空間の概念について1</b></p> <p>視覚的な空間概念について学習していきます。立体や空間の考え方や表現方法について演習を通じて学んでいきます。また、その都度、実制作に必要なとなってくる専門知識を盛り込んでいきます。</p> <p>(1)空間の心理・構成・調和について  視覚的な空間概念を、事例を挙げて学習します。  (2)空間における造形要素とその効果について  (1)で学んだことを念頭において、造形要素が制作する目的や過程によってどのように用いられるのかを学びます。</p>	<p>課題:「空間の概念について1」</p>
<p><b>第 10-11 回 : 空間の概念について1</b></p> <p>「空間の概念について1」の課題制作を行います。</p>	<p>課題:「空間の概念について1」</p>
<p><b>第 12 回 : 空間の概念について2</b></p> <p>(1)立体構成の要素—点、線、面について  点、線、面を用いた構成要素を事例を挙げて学習します。  (2)立体構成の手法、美的形式による構成について  (1)の要素とともに、構成の手法を事例を挙げて学習します。</p>	<p>課題:「空間の概念について2」</p>
<p><b>第 13 回 : 空間の概念について2</b></p> <p>「空間の概念について2」の課題制作を行います。</p>	<p>課題:「空間の概念について2」</p>
<p><b>第 14 回 : もののあり方について</b></p> <p>1)これまで学んできた色彩・平面・立体という3つの要素から、形と空間のあり方について学習していきます。  (2)もののあり方についての方法論を学習します。ものが空間に存在する様相を、形体のコンポジションから考察していきます。また考察した結果に対してさまざまな側面、考え方を課題制作を通じて学習します。</p>	<p>課題:「総合造形」</p>
<p><b>第 15 回 : もののあり方について</b></p> <p>「総合造形」の課題制作を行います。</p>	<p>課題:「総合造形」</p>
<p>試験は実施しません。授業中の課題によって成績を評価します。</p>	
<p>(1)授業の形式</p>	<p>「演習等形式」</p>

授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	(1)平面空間や立体空間における構成力や表現力を身につけ追求できる。
【知識・理解】	(1)制作に必要とされる専門知識を理解し、制作に用いることができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	(1)アクリル絵の具を主に用いて平面表現における色彩構成のトレーニングを行い、色彩に関する感覚を養う。(2)立体空間における表現力を身につける。
【思考・判断・創造】	(1)各種の素材の活かし方を学ぶ。(2)平面や立体の構成力を学ぶ。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点		

<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		<b>40点</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		<b>40点</b>	
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

<b>○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安</b>	
<b>成績評価方法</b>	<b>評価の実施方法と達成水準の目安</b>
<b>レポート・作品等 (提出物)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教師の指示や提示課題を理解し、制作に自分なりの工夫を加えること。</li> <li>2. 発想や制作過程や作品の仕上がりに独創性があること。</li> </ol>
<b>発表・その他 (無形成果)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 無駄話をせず、集中して制作に取り組むこと。</li> <li>2. 与えられた材料を無駄にせず、有効に使うこと。</li> <li>3. 使った道具や場所を清掃すること。</li> </ol>